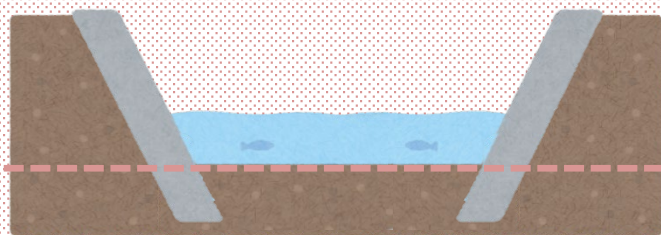
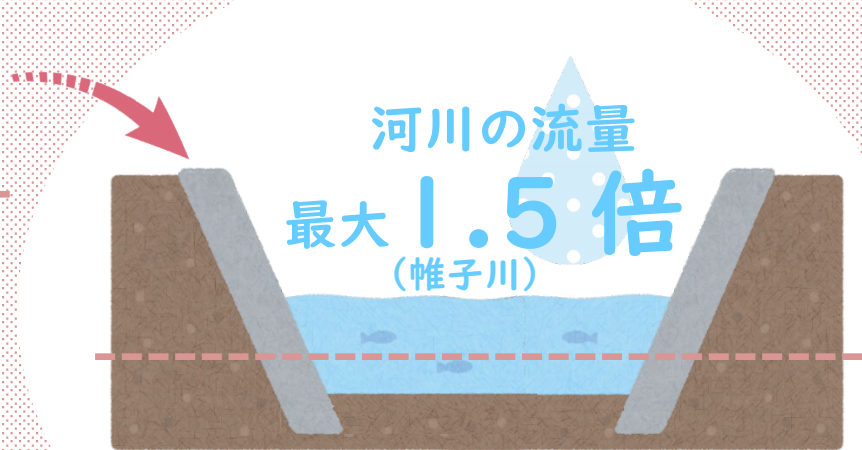


時間降雨量約60mm対応の河川を順次拡大！ ～高まる自然災害リスクに対し新たなステージへ～



【現在】時間降雨量50mmに対応



【改修後】時間降雨量約60mmに対応

市民の安全性向上

1 概要

近年、気候変動の影響による豪雨災害等が激甚化・頻発化し、日本各地に甚大な被害をもたらしています。国、県と連携して作成した「流域治水プロジェクト」※なども踏まえて、帷子川について、降雨確率1/10（時間降雨量約60mm）に対応した河川改修工事（河床掘削）を中堀川合流点付近から開始します。また、中堀川、今井川についても県と協議を開始しており、工事着手に向けて協議を進めていきます。



※ 流域治水とは

風水害の激甚化・頻発化等を踏まえ、河川整備等の対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域にわたる流域に関わる国、都道府県・市町村、企業、住民等のあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方です。

裏面あり

2 主な流域の対応状況（本市事業河川）



【鶴見川水系】

砂田川、鳥山川は、時間降雨量約 60mm の工事着手に向け詳細な検討を開始することについて、国との協議が整いました。

【帷子川水系】

帷子川は、令和 4 年度に県との協議が整ったため、時間降雨量約 60mm 整備に向けて工事着手しました。また、中堀川の改修や今井川の再整備についても県と協議を開始しており、引き続き、工事着手に向けて協議を進めていきます。

【境川水系】

平戸永谷川、宇田川、舞岡川など、時間降雨量約 60mm 整備に向けて、県と協議を進めていきます。

【大岡川水系】

令和元年 9 月に浸水被害が発生した準用河川日野川については、引き続き、浸水被害箇所の河川改修（時間降雨量 50mm）を進めています。

<効果>

河床を掘り下げるなどで、時間降雨量約 60mm の流量に対応できる断面を確保することで、さらなる治水安全度の向上が図られます。さらに、気候変動の影響による降雨の変化に対応するため、河川事業の整備水準を向上させるだけではなく、下水道事業とも連携し、市民の皆様の安全安心につながる、流域治水に取り組んでいきます。

3 その他お知らせ

**横浜市
水防災
情報**

**河川カメラ等が
追加されます！**

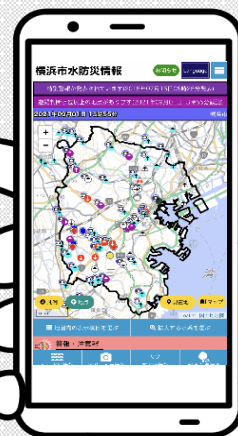
横浜市水防災情報のページで閲覧できる観測所が増えます。（国や県の河川カメラおよび水位計）

令和 5 年度：鶴見川水系の河川カメラ 14 か所

令和 6 年度：水位計&河川カメラ 5 か所



二次元コードはこちら



お問合せ先

道路局河川企画課長 中島 智彦 Tel 045-671-2818